

投資事業評価調書(新規)

課室名	港湾課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	港湾課長 戸口田克維 (藤原謙治)	内線	4440 (4455)
-----	-----	---------------------	----------------------	----	----------------

事業種目	港湾事業	事業名	事業区間	総事業費	約4億円
		港湾環境整備事業	尼崎西宮芦屋港 (甲子園地区)		
所在地				着工予定年度	完成予定年度
西宮市 甲子園浜				平成13年度	平成15年度
事業目的			事業内容		
港湾労働者や背後地住民の人々が良好な眺望を楽しむことや海に親しむための場として、また、休憩や簡易な運動ができる空間を創出する。			緑地造成 面積=3.6ha (展望広場・階段護岸・休憩所・駐車場等)		
評価視点					
(1)必要性 安全・安心		地域住民等の快適な親水緑地空間を確保するとともに、緊急時の近隣企業従業員及び市民の避難場所に活用できる。			
地域の活性化		近隣住民の憩い集う空間として利用できることから、交流機会の拡大とともに地域の活性化が図れる。			
快適性・ゆとり		<ul style="list-style-type: none"> <li>・<b>快適な生活環境の創出</b> 水際線への新たなアクセスを確保でき、気軽に海と親しめる場をつくるとともに、甲子園浜海浜公園と一体となった緑のネットワークが完成し、市民生活の快適性を向上させることができる。</li> <li>・<b>緑地整備率</b> 尼崎西宮芦屋港全体では緑地率(緑地面積/陸地面積)は1.9%と低く(県下平均2.7%)、本事業により2.9%まで緑地率の改善を図ることができる。</li> <li>・<b>環境の保全・創造</b> 新たに海岸線における緑豊かな空間が創出され、周辺の景観が改善される。</li> </ul>			
その他		当該力所の周囲は西宮市下水処理場や流通系企業が立地し、アクセス道路も完了しており、緑地のみが更地に残っていることから保安上からも早期整備が望まれている。 また、維持管理も「甲子園浜海浜公園」と同様西宮市に委託する予定である。			
(2)有効性・効率性 有効性		緑地率や海辺の景観の向上など環境の改善が図られ、投資効果が期待できる。			
効率性		地元自治体の協力体制もあり、円滑な事業実施が見込める。			
(3)環境適合性		水際線の解放と緑化による景観の改善や周辺環境の保全を図る。			
(4)優先性		当環境整備事業(緑地工事)は、水際線の解放や緑地率の増加等の観点から整備の必要性が高い。			
評価の結果	着手妥当でない	左の理由	再度、隣接する西宮市と計画の整合を図る必要があるため。		